

埼玉県越谷市 越谷アリタキ緑の会

貴重な樹木植物園を 次世代につなぎたい





東武スカイツリーラインの北越谷駅の近くには名所旧跡が数多く、徳川家康によって設けられた越ヶ谷御殿跡、旧日光街道沿いの宿場町、宮内庁の鴨場などを歩いてみるのも楽しい。周辺一帯を市の特別環境保全区域にも指定されている久伊豆神社の参道を歩くと「越谷アリタキ植物園」にたどり着く。園内に入ると正面にそびえ立つのは幹回り4.2mの巨樹「シナサワグルミ」。園内には、国内外各地から集められた樹木317種997本の樹木、254種の草本が植生され、思いのほか奥行きが深そうだ。

この貴重な樹木植物園を守る活動が続いているのが「越谷アリタキ緑の会」（代表：茂榑孝蔵さん）。同会メンバーにお話を伺いながら園内を進むと、越谷市の天然記念物に指定されている北米原産の「ラクウショウ」をはじめ、越谷市周辺では珍しい暖温帯性の樹木や多種のツバキが植えられている。「この木の根元にある粉のようなものは、ナラ枯れの現象です」とメンバーの高関さん。近年、コナラを中心に猛威を奮うナラ枯れは、2ミリ程度の虫が木の中に入り込み水を吸い上げる機能を阻害して、たちまち枯らしてしまうそう。そこで同会のメンバーは日々園内の木を見て回り、薬剤を撒いたりしている。

地面に生い茂る「富貴草」の葉を適度に刈り取り花が咲くように手入れするのは野草班のメンバー。冬でも常緑で茂る様子が縁起が良く繁栄をイメージすることから名づけられたという。

この日は樹木班のメンバーによりチドリノキの移植も行われた。チドリノキはカエデの仲間なのに葉の形が楕円形で仲間とは異なっており、モミジやカエデの種類を説明するときに必要な材料となるそう。メンバーから説明を聞きながら

一つひとつの樹木を見ていると、これまでと違った見方ができそうだ。

この植物園の歴史は古く、明治までさかのぼる。

地元の名士であった有瀧平太郎氏が明治時代に作った庭園をもとに、それを受け継いだ植物学者の有瀧雄氏が昭和2年に「アリタキアポレータム」と命名して、国内外の暖温帯性樹木の収集と栽培を始めた。「アポレータム」とは樹木園のこと。植物園自然保護国際機構（BGCI）に登録され、フランス、オーストラリア、ドイツなど各国の植物園から種子や苗木を得て同園で育てるなど、世界各国の植物園と交流していた歴史がある。

有瀧雄氏の没後、アリタキアポレータムは2002年に越谷市に寄贈される。ここに貴重な植生があることを知る埼玉県東部自然観察会のメンバーが整備し、2010年に「越谷アリタキ植物園」として開園した。開園に伴い、市が市民ボランティアを募集して「越谷アリタキ緑の会」は発足した。

同会は市と協働で植物園の保全に取り組み、植物の維持管理を行いながら、地域の自然環境教育・学習の場、地域の環境保全の拠点づくりに努めている。現在の会員数は70名。ガイド班、樹木班、野草班、企画広報班に分かれて活動し、勉強会も開く。毎週水曜日は一斉清掃と植物の保全作業。日曜日はガイド班により無料園内ガイドも行っている。

活動の原動力としてあるメンバーは「植物の保全は一つずつ作業する時期が決まっているので、次の目標を持つことができる」ことを挙げる。中には年間150日以上も活動する人もいます。

地元小学生向けの教育プログラム「ツリーウォッチングラ



リー」も好評だ。校外授業で訪れる小学生に樹木に関心をもってもらおうと考えたアイデアで、園内を回ってもらい、ワークシートには自分で観察した樹木の葉っぱの形や、気づいたことなどを書いてもらう。ガイド班メンバーも「あそこにある実は何だろう？」など子どもの気付きをサポートする。1時間ほどで授業に活用してもらいやすく、ゲーム感覚で参加ができるので子どもも楽しんでるようだ。

帰り際、広報担当の向笠さんがベルギーから届いたという手紙を見せてくれた。アポロレータムの時代に登録をしていた植物園自然保護国際機構への更新の案内のようだ。このほか種子交換の案内状も各国の植物園からいまなお届くという。このように「越谷アリタキ植物園」は世界とつながる土台がある。同会は今後、植物園として長期的に管理ができる体制を整えていきたいと考えている。植物を守る一つ一つの取り組みが、次世代の人材づくりにもきつとつながっていくと希望を持っている。

「植物園に来て見て触れて、体験してもらおう。そんな環境づくりを続けていきたい」と向笠さんは話す。緑の体験をした子どもたちがやがて大人になり、家族で訪れるような循環が生まれつつある。都市部に残された貴重な樹木のレガシーはまたとない地域の宝。未来の子どもたちにつなぐ取り組みが芽吹きつつある。

【越谷アリタキ植物園】

東武スカイツリーライン北越谷駅または越谷駅から徒歩20分。入場料は大人100円、小中学生30円、就学前の児童は無料。